

# 江差線10駅 最後の夏

## 10 江差



江差線では18日までの3週間ほど、JR北海道が通常の6往復に加えて臨時列車を2往復させたこともあり、終着の江差駅は大勢の鉄道ファンでにぎわった。連日200人以上が下車。ホームや駅舎を撮影し、駅の窓口で記念切符を買い求めて列をつくった。

JR北海道が木古内―江差間廃止を発表する前の2011年度の江差駅の1日平均乗車人員は30人。来春の廃止を前にしたホームの高まりを物語る。駅員も窓

■メモ 江差町陣屋町231、1936年(昭和11年)11月10日の江差線全線開通と同時に開業。75年に駅舎を改築。82年に貨物の取り扱いを廃止し、旅客駅となる。木古内駅から42・1km。

# 終着駅 ぜひ観光も



鉄道ファンでにぎわう江差駅ホーム

口対応に大忙し。下里聡駅しかかったと満足そうだ。長56は「昼ご飯を食べる暇もないほど」と笑う。30年ぶりに訪れたという名古屋市の中学校教員橋本誠さん(51)は、道指定有形歴史を感じさせる街並みや民俗文化財の横山家などを見学。「ニシンをばもおいする人は少ない。

静岡市の会社員池上靖史さん(40)は江差駅周辺に2時間滞在。「列車を撮影するのが目的。マチには行っていない」。名古屋市の大学生太田黒原生さん(19)も「江差駅に来られて満足」としつつも「マチに行く時間がない」と滞在時間34分で引き返した。

江差観光コンベンション協会は、江差線ファンに記念切符を求めて江差駅の窓口で列をつくる鉄道ファン

江差観光コンベンション協会は、こしそだ。(おわり)

